

## ディボーション質問表

### 2日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

### 3日(月) ヨハネの黙示録 3:1~6

サルデス教会は、活発な社会活動をする教会であり、その影響力も大きかった、とされています。宗教改革以降のプロテスタント主義はこのサルデス教会と似た部分がありました。プロテスタントから民主主義が生まれ、近代司法制度や会社組織、福祉事業などが生まれ、キリスト教的には良い意味での「教団」という考えも生まれました。しかし、本当の教会とは使徒2章にあるように、聖霊によって動かされるものです。この聖霊を軽んじるなら、どんな活発な活動をしていようと実は死んでいるのです。

1. ゼカリヤ4:1~6とこの箇所を読み比べて、キリスト者の生活に最も大切なものは何かを考えてみましょう。
2. 死んだ生き方をしないためには、「再びキリストが来られること」をいつも覚えていなければなりません。もし明日、彼が来るとしたら、今日どのように生きていますか？

### 4日(火) ヨハネの黙示録 3:7~13

フィラデルフィヤの意味は「兄弟愛を持って、愛し続ける」ことですが、テアテラやサルデスとは違い、神さまから何の非難も受けていません。特徴は神によってカギが開かれていることにあり、常に心が外に向いていました。教会史的にはウィリアム・ケアリをはじめとする大宣教時代、神によって召された宣教師達がいのちをかけて福音を広めていった時代にあたります。当時、彼らの妻子の宣教地での平均寿命は約2年、死に行くようなものでした。

1. ここでキリストは「ダビデの鍵を持つ方」として登場します。あなたの人生を開くのはキリストです。今、あなたの人生にはどんな可能性が開けていると思いますか。
2. 心を外に向けると試練がやってきます。しかし、神の励ましもあります。この箇所にはどんな励ましが書かれていますか。

### 5日(水) ヨハネの黙示録 3:14~22

ラオデキヤ教会は「真実な証人」である神によって、生ぬるいと断定され、その口から吐き出された教会でした。この教会の特徴は「自己満足」です。終末になると「多くの人々の愛が冷える」と預言されていますが、教会も例外ではありませんでした。残念ながら、現在のラオデキヤ地方は全くの廃墟と化していますが、神は私達のためにそこから脱する道を用意しています。

1. 自分が神に仕えていると思っていても、いつの間にかキリストは閉め出されて「外でノックしている」という状況になってないでしょうか。吟味しましょう。そして心の戸を開けましょう。
2. 「耳のある者は」、「御霊が」、「言うことを聞け」と、2~3章のすべての教会がすすめられています。あなたは神からの叱責、懲らしめを受けたことがありますか。また、それを正しくうけとめましたか？

### 6日(木) ヨハネの黙示録 4章

ヨハネは、自分である程度は知っていたであろう地上の諸教会への神の思いを2~3章で知りました。次に彼は天国の光景を見る事になります。ダニエル書7:13~14がここではさらに詳しく描写されています。

1. 六つの翼を持つ被造物は天使のケルビムと思われませんが、この天の礼拝を自分の心の中でイメージしてみましょう。どんな気持ちになりますか。
2. この礼拝の中でほめたたえられている神の性質は何でしょう。また、自分たちは礼拝するとき、神のどんなご性質を思っているのでしょうか。

### 7日(金) ヨハネの黙示録 5:1~6

神は世の終わりを記した7つの巻き物を持っていました。しかし、これを開く人が必要でした。そこで子羊が表れました。

1. この封印を取る資格がなぜキリストにあると思いますか。この箇所から読みとってください。
2. 長老達と四つの生き物のいる御座との間にキリストは立っています。何のためでしょうか。またそれはあなた個人にとってどんな益になりますか。

### 8日(土) ヨハネの黙示録 5:7~14

この箇所では明らかに子羊 = キリストが礼拝の対象です。私達の賛美は父なる神へ、と同時に子なるキリストにも向けられるべきです。

1. 9、12、13節の歌に似た賛美歌を何か思い出せますか。もし知らなければ、自分で声に出して読んでみましょう。
2. この箇所「祈り」の働きが出てきます。私達の祈りは天にどのような影響をもたらしているのでしょうか。